

青梅市社会教育委員会議9月定例会会議録

令和元年9月17日
201会議室
出席者 委員 9名
(欠席者 委員 1名)
事務局 3名

1 開 会

2 報告事項

- (1) 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2回役員会・拡大役員会、第1回理事会、令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会第1回実行委員会の開催について (報告資料 1)

ア 日 時 令和元年7月23日(火)午後1時30分から

イ 場 所 三鷹市公会堂さんさん館

ウ 参加者 宮野議長、随 行 土屋

【事務局】事務局から概要説明。

【議 長】全国社会教育委員連合の会費の値上げについて、都市社連協の負担を少なくすることを考えると、ブロック研修会は現在実費精算で行われており、予算全額使われているところは少ない。そのため、ブロック活動費を減額することで対応することは妥当ではないか。

- (2) 教育委員との懇談会について

ア 日 時 令和元年8月16日(金)

教育委員会終了後 午後4時30分～

イ 場 所 教育委員会会議室

ウ 出席者

宮野	金子	藤原	神山	市川	栗原	小花	飛田	横手	園田
○	○	○	○					○	

エ テーマ「学校と地域の連携について」

【事務局】事務局から概要説明。

【議 長】地域の課題を考えていく中で、学校との交流は必要。地域のことを学校の先生にたくさん知ってもらった方がいいと思う。しかし、実際地元の学校では新任の先生が多く、地域学までまわらない。青梅学までは少し時間が必要とのことであった。地域の行事に学校を取り込むことも大事だし、学校の事業に地域が入っていくのもいい。また、学校の先生にはそういったことを理解していただいていることもわかった。

【委員】参加された教育委員の皆様は、青梅市の外から青梅市に来た方が多く、青梅についてそのような視点をもっている方のお話が聞けた。連携について、人と人とのつながり、信頼関係のもとにつながっていくことを、今後総論としてだけでなく、各論として話していければいいと思う。

【委員】学校職員の方で、地域にはどんな方がいるのか、顔見知りになって、地域学をすすめていければと。時間はかかるかもしれないが、学校の管理職として青梅学に取り組んでいきたいと思っている。

【委員】よい情報交換ができたので、今後も続けるべきであると思う。教育委員の皆様は学校教育と社会教育の両方の分野に携わっておられる。一方で、行政側の学校教育の部署と社会教育の部署で意見交換しているのかなと思う。教育基本法の中でも、学校・地域・家庭の連携が謳われており、文部科学省の政策のなかでも地域のコミュニティをどこにするかという課題がどこにでもある。これを踏まえながら、青梅市独自の色をどうつけていくかが重要である。私たち社会教育委員は、学校教育現場について情報はあがるが、どのように意見交換できるか、また当事者の意見を聞くという点で、今後学校との連携をもっと強化していかなければならない。

【委員】個々の意見を述べたかんじだったので、もう少し議論ができればいいと思う。25年くらい前は、学校の壁が厚かったが、最近は、地域の人のことをあてにしてくれるようになった。学校と地域、もうちょっと集まって色々な話ができれば、災害の時等にみんなの力が一つになるのではないかと思う。貴重な機会であった。

(3) 令和元年度青梅市芸術文化奨励賞表彰実施要領について

(報告資料2)

【事務局】事務局から概要説明。次回の定例会で、表彰候補者について協議いただきたい。

【委員】毎回、音楽部門のランクが難しい。もう少しわかりやすい資料を出してもらえると判断がしやすいがいかがか。

【事務局】コンクール名等多岐にわたっているので、精査して、審議しやすいよう説明等行っていきたい。

(4) 生涯学習事業実施予定・結果

(報告資料3)

【事務局】事務局から概要説明。

(5) その他

特になし

3 協議事項

(1) 青梅市社会教育委員会議7月定例会会議録について (協議資料 1)

【事務局】事務局から概要説明。

～承認～

(2) 令和2年成人式について (協議資料2-1~2)

ア 日時 令和2年1月13日(祝) 午前10時開場

イ 会場 青梅市立総合体育館

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】今年はおだやかな式でよかったと思う。毎年、がんばっている新成人の方が司会をしてくれていると思う。

【事務局】主張大会の優秀者、芸術文化奨励賞、スポーツ賞受賞者、青少年リーダー研修会参加者、ボッパルト派遣者等を参考にして、司会等をお願いしている。

【委員】学校の先生からのビデオレター、準備等大変でしょうが、あたたかくていいと思う。

【課長】羽村では、新成人が実行委員としてビデオレターを撮り、とても盛り上がっている。

(3) 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1ブロック研修会について (協議資料3)

ア 日時 令和元年10月26日(土) 午後1時～

イ 会場 ひのでグリーンプラザ

ウ テーマ ☆統一テーマ

「学びと活動の循環をつくる～『つながり』と『地域課題の解決』を促す社会教育の推進

☆ブロック研修テーマ

「学びを通して自然との共生をめざし、人と地域のつながりを促す社会教育の推進」

エ 参加者

宮野	金子	藤原	神山	市川	栗原	吉野	飛田	横手	園田
○	○	○						○	○

【事務局】事務局から概要説明。

(4) その他

【事務局】令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会について、先日、実行委員長、三鷹市、青梅市、府中市の事務局で、東京都の主任社会教育主事と課長を訪問し、現状と今後の協力についてお話をいただいた。こちらからは、実行委員会を立ち上げ、府中市で開催すること等をお伝えした。東京都からは、組織化された中で進めているのであれば、講師の紹介等協力していき

たいとのことであった。予算化については厳しいとのことであった。

【議長】東京都が前向きになったことはいいことだが、大きな事業なので、予算の面でも今後、東京都に協力してもらいたい。前年の大会で、東京大会をプロモーションするのにもお金がかかると思う。

【委員】東京都の職員を開催組織に入れて、多摩だけでなく、全都として開催する方向に向かわないと。

【事務局】今までと関係が変わってきたので、今後情報共有しながら、連携してやっていきたい。

4 その他

【事務局】その他の配布物について説明。

次回定例会 10月15日（火）